



《発行》中津市ボランティア・市民活動センター（中津市教育福祉センター内）  
〒871-0021 中津市沖代町1-1-11 TEL 23-2095 FAX 24-7682  
ホームページ》http://www8.ocn.ne.jp/~penguin6 E-MAIL》nakatsu.t05@true.ocn.ne.jp

## わたしたちにできること ～「看護の日」ボランティア活動～

5/14、中津ファビオラ看護学校看護学科2年生32名の皆さんが、中津駅前で約1時間半、東日本大震災の被災地支援活動を行いました。今回の活動は、自分たちにできることは何かを学生の皆さんがいくつかのボランティア活動の中から検討し、選んだ活動でした。被災地支援といっても募金活動にとどまらず、被災地にメッセージとボランティア活動を支援する支援金を送る「輪っか和っかプロジェクト」というボランティア活動で、中津市内ではファビオラ看護学校が初めて取り組むこととなりました。



ペットボトルで作った手作りの募金箱、パネルを準備し、北口と南口に分かれ、学生の皆さん自身がメッセージを書いた「輪」を手にも通る方々に「ご協力お願いいたします」と途切れることなく、大きな声で声をかけ続けていました。募金はしてくれても急ぎ足の方が多く、なかなか足を止めてメッセージを書いてくれる方が少ないため、声かけの方法に悩んでいるようでしたが、時間が経つにつれ、自然なようすで「一言メッセージをおっしゃっていただければ書きますので」等、声かけの仕方も工夫されていたのが印象的でした。さすが、すでに社会人として働いている皆さんで、看護師という人と接する職業を選んでいることもあり、相手に合わせた対応や工夫など、臨機応変な柔軟性が活動の中に生かされていました。

この日、人通りはあまり多くはなかったのですが、折り紙の輪がひとつひとつ繋がっていくように、募金してくださる方・メッセージを一生懸命書いてくださる方、そして笑顔と元気でこの活動に参加した学生の皆さん…日頃はつながりのないさまざまな人たちの心が、遠い被災地まで繋がっていくことを感じさせられたボランティア活動でした。

後日、中津ボランティア・市民活動センターに「輪っか」と募金総額68,200円を届けていただきました。

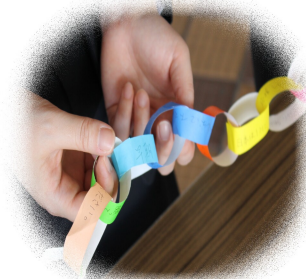


「5月12日＝ナースの誕生日」に由来し、日本ではこの日を「看護の日」としています。この日のちなんだ、中津ファビオラ看護学校では学生の皆さんが、毎年、さまざまなボランティア活動を行っています。

## 『輪っか和っか（つながる心をカタチに）プロジェクト』とは？

幼稚園や保育園の頃や、イベントで室内を飾るために折り紙の輪をつなげたことはありませんか？

大分県ボランティア・市民活動センターが、この度、被災地の方々に大分から、また全国の仲間たち（広島県、三重、山口宇部）とともに応援する試みとして始めた活動です。



「被災地へ行きたくても行けない」「被災されたみなさまにお見舞いの心を伝えたい」「何かしたいが、何をすることが良いことなのかかわからない」・・・そのような気持ちを何とかカタチにしたいと思い、子どもから高齢者、障がいのある方もみなさんが主体となれるような方法として企画されました。大分から被災地のみなさんへ“いつまでも、私たちは被災地のみなさまとともにある”というメッセージを継続してカタチにするため、ぜひ、みなさまの周りの方へもお声をかけていただき、みんなで力をあわせていきませんか？

◆期間◆9月末まで

- ・期間中でしたら、いつでも始められます
- ・1つの短冊（1メッセージ）につき、10円の寄付をお願いしています。
- ・寄付金は被災地で活動するボランティア団体・NPOを支援するお金として役立てます。



## ～その気持ちに、ありがとう♪～

“プルタブ”をいただきました。

（中津市在住の匿名さんより）

寄付していただいた“プルタブ”は、仕事を退職した男性たちが地域に貢献する活動や、ボランティア活動を行っていくためのきっかけの場・気軽に集まれる場として運営している地域サロン「のじこ」に寄付させていただきました。地域サロン「のじこ」では、プルタブやアルミ缶を業者に持って行き、換金してサロン運営費の一部に充てています。



↑活動中にお邪魔して“プルタブ”をお渡ししました

## ボラ豆知識 収集ボランティアについて

収集した物がどこで受け取られ、換金・活用されているのかを知ってから始めることが大切です。一部で、受け取られないもの（たばこの銀紙、わりばしの袋など）を収集する噂が流れていますのでご注意ください。

☆その他代表的な収集物☆

使用済み切手、書き損じハガキ、ペットボトルのキャップ・・・など。収集する際の注意点や活用方法など詳細についてはボランティア市民活動センターまで。





# カメラマンボランティア第2期養成講座開催

## ～カメラの専門家に学ぶ 地域カメラマンのいろは～

『カメラのいろはと福祉』をテーマに、今後“地域カメラマン”として、地域で福祉活動している方の表情やその風景を写し出すボランティア活動をしてみませんか。ボランティア活動に興味のある方、カメラに興味のある方、生きがいづくりをしたいという方、人とかかわるのが好きな方、ぜひご参加ください。ボランティアグループにおける活動の記録をもっと向上させたいという方のご参加もお待ちしています。

### 講座日程

| テーマ                                                                | 期 日                   | 内 容                             |
|--------------------------------------------------------------------|-----------------------|---------------------------------|
| 講座① 基礎編」                                                           | 8/7日)<br>10:00～12:00  | デジタルカメラの原理、取り扱い                 |
| 講座② 基礎編」                                                           | 8/21日)<br>10:00～12:00 |                                 |
| 講座③ 撮影編」                                                           | 9/4日)<br>10:00～12:00  | 写真の作り方 撮影の基本                    |
| 講座④<br>「カメラマンボランティアの可能性」                                           | 9月下旬                  | 福祉とボランティアの基本を学ぶ。                |
| 撮影実習 地域の活動を撮影」                                                     | 10月～11月               | 学んだ技術を活かして、地域の福祉活動に参加撮影の実践。     |
| 展示報告 集大成を制作」                                                       | 12月                   | 撮影実習での写真を講座集大成として展示会を開催。 ※会場は未定 |
| 対 象 : ①人とかかわるのが好きな方 ②カメラに興味のある方<br>③デジタルカメラをお持ちの方 ※上記①～③にすべてあてはまる方 |                       |                                 |
| 講座実施会場 : 中津市教育福祉センター                                               |                       |                                 |
| 受講料 : 全講座の受講 1000円                                                 |                       |                                 |
| 定 員 : 20名 (先着順) ※申込みは6月15日より随時受け付けます                               |                       |                                 |

### 講師紹介

- 講座①～③ 講師：大倉 靖生 氏（全日本写真連盟大分県本部委員長）  
写真歴50年、数々の写真展に入賞。現在は主に、海外に行って子どもたちを被写体としています。
- 講座 ④ 講師：栗木 剛 氏（mottoひょうご事務局長）  
絶妙な語り口で、福祉やボランティアのポイントを楽しくわかりやすく伝えてくれます。

～んしゅうこうき～

旅行が大好きなワタシ。今は10ヶ月の娘の世話に追われ、なかなか遠出ができずに悶々していると、家族があるチラシを一枚。そこには「全国銘菓まつり」の文字が。旅行に行くのも好きだけど、現地のいわゆる“銘菓”というものを買うのがさらに好きだったりするワタシを家族の方がよく分かっているようです。今はそのチラシに載っている銘菓を買うのが楽しみ！銘菓に舌鼓を打ちながら旅行に行った気分になりつつ（単純!?!）娘が大きくなって一緒にお出かけするのを今か今かと待っています・・・。

普段は1個100円のお菓子でも迷ってしまうのにネ。 ～地域福祉係：さかうちあきこ～

## 情報コーナー

助成金

### 福祉ボランティア専門研修事業

大分県ボランティア・市民活動センターが、福祉ニーズに応えるための人材育成の研修事業を企画した団体に事業を委託します。

応募資格》10人程度以上の会員で、1年以上の活動実績がある非営利団体  
※法人格の有無を問いません  
委託できる研修》

- ①20～30時間程度の専門的な研修であること
- ②会員以外に10人以上の受講者が確保できること
- ③テーマは福祉分野での専門的な内容であること

助成金

### みずほ福祉助成財団

みずほ福祉助成財団が、障がい児者（身体、知的、精神）の福祉向上を目的とする事業や研究に助成します。対象団体としては、1年以上活動実績のある社会福祉法人、非営利活動法人、任意団体、共同作業所、研究グループ等です。過去の実績として、ボランティアグループも多く助成を受けています。

※詳細については財団HPに掲載されています。  
<http://homepage3.nifty.com/mizuhofukushi/>

NPO法人 水辺に遊ぶ会 主催

### 大新田ビーチクリーン

浜に出かけて潮風にふかれてみませんか？  
浜辺に打ち上げられたモノをじっと見つめてみませんか？

「みんなで楽しく」をモットーに海岸清掃の仲間を募っています。

日 時》平成23年6月26日（日）  
9:00～10:00

場 所》大新田海岸

※長靴・帽子・手ぬぐいなど作業のできる服装でご参加ください。

ペンぎん掲載内容についてのお問い合わせはボランティア・市民活動センター（23-2095）まで

委託先金額》上限30万円  
応募〆切》6月30日（木）  
※県社協による審査の上、委託先は決定します。  
※選考にあたり、県社協への説明を求められる場合があります。

※これまでの委託先例：

- 子育て支援（託児、読み聞かせ、子育てサロン…）
- 障がい者支援（障がい児支援、移動サービス…）
- 高齢者支援（認知症介助、サロン活動…）
- 共通な支援（傾聴、カウンセリング、家事支援…）

給食ボランティアおすすめの一品

### 『酢のもの』

材料 貝柱（70g）、むきエビ（60g）、きゅうり（1本と1/4本）、酢・砂糖・酒・白ごま（少々）

※4人分の材料です

- 手順① 貝柱を酒で茹でる
- 手順② エビは塩水で茹でる
- 手順③ きゅうりを輪切りにする
- 手順④ ゴマを炒る
- 手順⑤ 酢、砂糖、で材料を合わせる

☆地産地消にこだわっています。

（漁港ならではの新鮮な食材）

～一品提供グループ～

『さざ波会』

会員数》21名

活動日》第2木曜日

活動地域・場所》

小祝・港町・新町・中島一部

☆会のみなさんから一言☆

毎回、地元の魚介類、野菜等の食材にこだわり、献立を考えています。

元気な方は憩いの家で楽しく会食して頂いています。受け取られる皆さんの声が直接聞けて私たちの励みになります。